

児童発達支援及び放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和3年 2月 8日

公表:令和3年 2月 12日

事業所名 エール メグシィ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		学習専用スペースを設けている	部屋ごとに目的を定め活用している
	2 職員の配置数は適切である	○			適切な指導ができるよう職員を配置している
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		教室前に階段があるが、危険の無いよう滑り止めを設置するなど改善を行う予定となっている
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		日々のミーティングや記録を通し、情報共有と振り返りに努めている	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		新教室開設の際は、内覧会を行い、保護者様からのご意見を把握するよう努めている	毎日のお迎えの際などにも意向を把握できるよう努めている
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		結果だけではなく、改善策やビジョンについても公開できるよう努めている	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			連携機関から総合的な全社評価をいただくことはあるが、教室ごとの改善案までいただく機会はあまりない。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内研修を行いやすい様、ZOOM等のオンラインミーティング機能を利用している	コロナ禍で外部研修の機会は減ったが、社内研修を行っている
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		他教室とも連携し、客観性を保てるよう努力している	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			児童発達支援管理責任者を中心に職員で所内会議を基に作成している
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		教室内のチームのほか、他教室とも連携して進めている	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			行事等を活動プログラムを積極的に取り入れている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		曜日ごとに利用者様が異なる為、活動プログラムも変化させ支援を行っている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			各自の特性や個性を反映させた計画立てをしている
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		教室内での連絡ノートを活用しながら打合せをおこなっている	日々のミーティングで共有しながら役割分担を確認している。
16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後に記録を残し、職員間で共有している		
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録内容に誤りがないか、相互確認も怠らないようにしている		

18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			必要に応じて計画の見直しを行っている
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			複数のガイドラインの主要箇所を読み取り、日々の支援に反映している

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		学校、関係機関と連携し、積極的に参画している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	学校によりメグシ用の下校時間予定を頂くなど、情報共有が円滑に行える様連絡調整を行っている。	日々の送迎時などにも積極的にコミュニケーションを取り、学校との情報交換を密に行えるよう心掛けている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在、受け入れはしていない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			相互理解がうまくできるよう、担当者会議等での情報収集に努めている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		これまでエール教室での実績はない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		全社としてはあるが、教室個々としても必要に応じて取り組んでいきたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		これまで放課後児童クラブや児童館との交流実績はない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		案内が来れば積極的に参加するようにしている
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		希望者する方とはメグシと保護者様との連絡ノートで共通理解を図っている	お迎えに来ていただいた際などに、積極的にコミュニケーションを取るようにしている
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			保護者面談などで思いを汲み取れるよう努めている	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			年度始めにしおりを配布するなどして周知している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		悩みが深い場合は、石川ドクターの療育指導等につなげている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			コロナ禍のため、今年度はあまり実施できていない
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			速やかな検討・改善を心掛けている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		利用予定表へ行事予定を掲載している	月に1度、教室だよりを発行している
	35	個人情報に十分注意している	○		処分についてもシュレッターを使用し、情報漏洩に努めている	厳格に規定を定め、それに則り扱いに留意している
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			特性に応じ、最も理解しやすい対応の仕方を取るよう努めている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		プライバシーの観点からまだ実施していない

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		社内で防災担当委員会、感染症対策委員会を立ち上げ、予防に取り組んでいる
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に1度以上、防災訓練を実施している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		社内研修等で情報を共有している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	これまで身体拘束を行った事例はない
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者へきちんと聞き取りを行った上で、外注弁当やおやつでのアレルギー物質確認を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		職員全員で事例を共有し、再発防止に努めている